

# いぬなし青葉

令和5年12月8日

第18号

校長 山下英樹



山手中HP

12月に入りました。ついこの前まで暑さを感じていましたが、季節はきちんとめぐっており、例年通りの寒さとなってきました。12月の和風月名(=わふうげつめい)を「師走(=しわす)」と言います。この場合の「師」は僧侶(そうりょ)、つまりお坊さんのことです。「お坊さんがお経をあげるために東西を馳(は)せる月という意味から「師馳す(しはす)」となり、そこから転じて「師走(しわす)」となった説が有力だそうです。12月は普段は静かに歩くお坊さんまで走り出すくらい忙しいという意味もあります。しかし、年末のあわただしさに流されるのではなく、じっくりと腰を据えて自分自身を見つめ、「成長したこと」「できるようになったこと」、また、「次に克服すべき課題は何か」等、振り返っておきましょう。

## ● 職場体験で学んだこと・感じたことをこれからは生かすことが大切！

12月5日(火)～7日(木)の3日間、2年生は職場体験学習を行いました。いくつかの事業所を訪問し、みなさんの様子を見てまわりました。一生懸命取り組んでいる様子、小さい子どもと楽しそうに関わっている姿、緊張しながらも真剣に作業している姿を見て、本当に良い経験をさせていただいていると心から感じました。職場体験学習の目的の1つに、「体験を通じて、自分を見つめ、より充実した生き方について考える」というものがあります。体験を通して、自分の得意なことや自分に向いていること、逆に自分の課題やこれから身に付けていきたいこと(身に付けていかなければならないこと)などを見つけられたでしょうか。また、自分は将来どんな生き方をしていきたいのか、そのために今どのようなことに力を入れたらよいのか、どんな生活をしたらよいのか等を考えるきっかけの1つにしてください。

インフルエンザ等感染症の影響で職場体験学習に参加できなかった人も何人かいます。楽しみにしていた中での不参加ですので大変残念だとは思いますが、それまでに取り組んできたこと、また、参加した人たちの思いや感想を自分事として聞く中で、想像をふくらませ、広げて行ってほしいと思います。他の場面からも学ぶことはたくさんあるはずです。

生徒の職場体験を受け入れていただいた事業所や施設の方々のご理解、ご協力に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



### こんな言葉、聞いたことありますか？ 「返されたテストは、宝の山」

最近、インターネットで調べ物をしていて、偶然、上の言葉を知りました。とても素敵な言葉だと感じたので、みなさんに紹介します。みなさんはこれまで何度もテストを受けてきて、「間違ったところを間違えないように」と言われ、また自分でもそう考え取り組んできたと思います。みなさんの今までのやり方で、間違いが減っていれば良いのですが、なかなか改善できないという人は、この言葉で検索してみてください。そのページには、「同じ間違いを繰り返さないようにするには、「なぜ間違えたのか」「間違えないためにどうするか」を文章化することが大切であると書かれていました。期末テストが返ってきてから少し経ちますが、もう一度自分のテストを見直し、原因と解決方法を文章化してみましょう。

宝の山も遠くからながめているだけなら、本当の意味で宝の山ではありません。山に入って、宝を掘り当ててこそその宝の山です。陰しく大変な個所もあるかもしれませんが、自分自身の宝を見つけるための作業です。改善策がうまくいき、目標が達成できた自分を想像しながら、主体的に取り組んでみましょう。

## ● 自分の自転車の姿を振り返り、安全な登下校を心がけよう！

山手中学校から大谷台小学校へ向かう山手通りの坂の途中の左側（南側）、林となっていた土地の伐採（ばっさい）工事が進められています。開発された土地は2026年に商業施設としてオープンするようです。この先、約2年間、工事や建設が続き、工事関係の車両が多数出入りすることになります。生徒のみなさんが安全に登下校できるよう、朝の通学時間帯の工事車両の通行は避けるよう、また、誘導の警備員を配置するよう、自治会と共に学校からもお願いをしています。



また、先日の学校教育診断アンケートには、登下校を含む自転車の乗り方等について、保護者の方からご意見をいただきました。交通安全については、機会あるごとに学活等で話をしてきましたが、再度、確認をしておきます。自分の登下校の様子や自分が自転車に乗っている姿をイメージしながらよく読んでください。

◆ 自転車は車道、そして、道の左側を走るのが原則です。ただし、例外的に歩道を走ることも認められていますが、その場合、歩行者が優先です。歩行者の妨げ（さまたげ）とならないよう、注意して運転してください。特に、大谷台小学校方面から山手中学校方面に下ってくる場合、自転車で道の右側を下ってくるのは大変危険です。道の左側を下ってくるか、歩行者に気をつけながら歩道を通るようにしてください。（道の右側の歩道を走ってきて、歩行者がいたので避けるために車道に出ることは、大変危険です。自分の命を守るためにも、絶対にはいけません）



◆ 教育委員会の調べによると、小中学生の自転車の事故で多いのが、交差点での飛び出しによるものです。交差点では信号を確認し、信号が青であっても、曲がってくる車がないか確認してから渡るようにしましょう。また、信号がない交差点では、必ず一旦停止し、左右の確認をしてから渡るようにします。特に、小杉郵便局西側の交差点は、両方向とも一旦停止をしないとイケない交差点です。必ず停まって、確認してから通るようにしましょう。

◆ 自転車使用時はヘルメットを着用しましょう。道路交通法の改正により、すべての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となりました。万が一、事故にあった場合、大切な頭部を守ってくれるヘルメットです。登下校の時だけでなく、放課後や休日に自転車に乗るときも、ヘルメットをかぶるようにしましょう。

**【保護者の方へ】12月1日（金）から10日（日）まで「年末の交通安全県民運動」が実施されています。年末のあわただしさの中、また、日暮れも早くなっていますので、交通事故が起きやすい状況です。交通事故防止に向けて、お家でもお話しいただき、お子様の安全意識を高めていただきますようお願いいたします。**

### タブレット端末のキャリングバッグの破損時の対応について

- 現キャリングバッグ（写真左）が破損した場合は、新キャリングバッグ（写真右）に交換します。担任にお知らせください。
  - 新キャリングバッグが破損した場合は、ご家庭で代替品をご用意ください。
- ※ キャリングバッグ、タブレット端末は、市教育委員会より貸与されているものです。大切に使用するよう、ご家庭でもお話しください。

